

健康文化学科（食健康コース）（仮称）における 管理栄養士受験資格の取得に関する県の考え方

平成 25 年 6 月 24 日

新県立大学の「健康文化学科（食健康コース）」における管理栄養士の受験資格取得については、県内大学等からの反対意見があるが、具体化に当たっては以下の対応を行うとともに、さらに県内大学等と調整しながら進めていく。

なお、食健康コースは、40 名程度の入学定員の「健康文化学科」に設置する 2 コースのうち 1 コースであり、長野県短期大学の「生活科学科健康栄養専攻」の入学定員 40 名を下回る入学定員としていく。

1 大学の特色の明確化

「グローバルな視野を持ち、イノベーションを創出できる人材を育成する。」という大学全体の基本的な方針に基づき、各局面で特色を明確化する。

(1) 学生の募集と入学者選抜

育成する人材像とそのための学習内容を明確化し、学生を募集する。
一定の英語力を求める入学者選抜を行う。

(2) 教育内容

食に関する専門性に関する教育の他、以下について重点的に取り組む。

- ・英語集中プログラム等による実践的英語力の習得
- ・海外プログラムの必修
- ・マネジメント、食ビジネス関連科目等を履修
- ・留学生との異文化交流や語学力養成のため、1 年次原則全寮制

(3) 職域の拡大

食育や食ビジネス等産業への展開ができる人材を育成し、広い職域を対象に人材を輩出することを目指す。また、県内大学と連携して、食や健康に専門性を持った学生の職域の拡大や就職先の確保に向けた取り組みを行う。

2 高等教育全体の振興

県内大学と連携して、長野県の高等教育全体の振興を図る。